

|              |  |      |      |
|--------------|--|------|------|
| 科目名          | 日本文化論<br>Japanese Cultural Studies   | 単位数  | 2    |
|              |  | 必選区分 | 必修   |
| 開講学科         | 国際コミュニケーション学科（1年前期）【他学科専門科目】   | 科目区分 | 講義   |
| 担当者          | 村中 菜摘  | 教員区分 | 学内教員 |
| 授業目的<br>到達目標 | <p>本講義では、日本人の精神文化の特徴を学ぶことで、我々の最も身近にあって一生付いて回る「心」の側面から日本人の特徴を客観的に理解することを目的とする。これによって自己評価を高め、さらに求められるものは何かを考えて行動に移すことで、日々の悩みや生きづらさに向き合い、ひとりひとりがよりよい生き方を模索する方法を見つけられるようになることを到達目標とする。同時に、自分を知ることによって他者を理解し、よりよい人間関係の構築のヒントを見つけられることも到達目標とする。</p>  |      |      |
| 授業概要         | <p>日本人の精神文化を切り口に日本文化について考える。日本人のものの考え方の特徴を文化的側面から自覚することは、今後のよりよい生き方へとつながる作業である。具体的には、日本人の精神文化の代表的な特徴として「もののあはれ」「無常」「義理と人情」「粹」について、主に日本文学の立場から私たちの思考の型（癖）を認識する。「もののあはれ」では『源氏物語』、「無常」では主に『方丈記』および『徒然草』から、「義理と人情」では近松門左衛門の浄瑠璃作品、「粹」では九鬼周造『粹の構造』の考えを基本に近松作品を取り入れ、日本人の精神文化の魅力および改善点を考え、よりよい生き方を提案する。<br/>【SDGs：4、10】</p>  |      |      |
| 授業計画         | <ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス、日本人の精神文化の特徴①「もののあはれ」（1）</li> <li>② 日本人の精神文化の特徴①「もののあはれ」（2）</li> <li>③ 日本人の精神文化の特徴①「もののあはれ」（3）</li> <li>④ 日本人の精神文化の特徴①「もののあはれ」（4）</li> <li>⑤ 日本人の精神文化の特徴②「無常」（1）</li> <li>⑥ 日本人の精神文化の特徴②「無常」（2）</li> <li>⑦ 日本人の精神文化の特徴②「無常」（3）</li> <li>⑧ 日本人の精神文化の特徴②「無常」（4）</li> <li>⑨ 日本人の精神文化の特徴③「義理と人情」（1）</li> <li>⑩ 日本人の精神文化の特徴③「義理と人情」（2）</li> <li>⑪ 日本人の精神文化の特徴③「義理と人情」（3）</li> <li>⑫ 日本人の精神文化の特徴③「義理と人情」（4）</li> <li>⑬ 日本人の精神文化の特徴④「粹」（1）</li> <li>⑭ 日本人の精神文化の特徴④「粹」（2）</li> <li>⑮ 日本人の精神文化の特徴④「粹」（3）</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol> |      |      |
| 予復習等         | 毎回、その日に学んだテキストを見直しておくこと  |      |      |
| 評価方法         | <p>【自学科学生の場合】<br/>出席状況・受講態度40%、授業時に書いてもらうメモ20%、定期試験40%</p> <p>【他学科学生の場合】<br/>出席状況20%、授業時に書いてもらうメモ40%、定期試験（レポート）40%</p>   |      |      |
| 履修条件         | なし   |      |      |
| 教科書          | プリントを配布する  |      |      |
| 参考書          | 必要に応じて配布プリント、映像教材を用いる  |      |      |